

協働のまちづくりのルールブックをつくろう！



(仮称)廿日市市

まちづくり基本条例 かわら版

第4号

平成22年8月

(仮称)まちづくり基本条例検討市民委員会 第3回会議

「廿日市市のまちづくり ～協働によるまちづくりでめざす姿」を考える

今回の会議は、月曜日の夜に廿日市市役所で開催しました。平日の夜にも関わらず、多くの市民委員が出席し、限られた時間の中で、第2回会議で出た意見をもとに議論を深めていきました。また、市民や市職員の傍聴もありました。

第3回会議の様子をお知らせします。



市民委員会 第3回

と き：8月9日(月) 午後7時～8時55分
と ころ：廿日市市役所 7階会議室
内 容：話し合い
グループ別検討・発表・投票・まとめ

条例素案の完成まで(平成22年度)

H22.6.19

基礎学習(市民委員会第1回会議)

H22.7.6

基礎学習(キックオフシンポジウム)

H22.7～12月

内容検討(市民委員会第2～7回会議)

冬頃

意見交換(市民ミーティング)

H23.1～3月

まとめ(市民委員会第8～10回会議)

H23.3月頃

最終報告(シンポジウム)

素案完成



● 話し合い ～ 「協働によるまちづくりでめざす姿」を話し合いました ～

7月31日の第2回会議で出た意見をもとに、「安全・安心」「福祉」「環境」「文化・交流」「青少年」の5グループで議論を深め、「めざす姿」のキーワードをまとめるとともに、次回の会議でまちづくりの主体や役割分担について話し合いたいテーマを選びました。

【安全・安心グループ】

「つながり」「誰もが安心して住めるまち」「地域の文化財(シンボル)を大切に」「顔見知り関係の構築」をめざす姿のキーワードとしました。

話し合いの中で、日頃の生活の中で、話し合う機会・場所がなく、人材が固定して新しい人材の発掘が難しいという意見や、集いの場所として、身近な集会所などを活用してはどうかとの意見がありました。

《次回の会議のテーマ》

- ・活動を活発にしていいため、30、40代、50代を引き込みたい(イヤイヤではなく参加してもらうためには)
- ・連携を促すためのまちづくりサロンのような作戦(例えば、中央市民センター、佐伯支所3Fでやっている活動のようなもの)



【福祉グループ】

「情報共有化」「コミュニティ強化」「各地域の個性を生かす」「年齢・性別に関係なく住みやすい」「安心・安全」「にぎわいの創出」をめざす姿のキーワードとしました。

「つどおうや! みんなでつくる地域の輪」をまちづくりのキャッチフレーズとしました。合併してとても広くなり、それぞれの地域で特性がある中で、一概に「廿日市市」としてまとめるのではなく、地域特性を大切にしながら、つながりをもっていこうという考え方が根底にあります。

《次回の会議のテーマ》

- ・市民の力と行政の支援でコミュニティ活性化
- ・みんなが発信・行政が集約情報共有
- ・みんなが参加してまちづくり



【環境グループ】

「廿日市市民は一つの家族!」「5世帯住宅」「意識の改革」「まちが健康」「人も健康」「安心・安全」「自然環境」「景観」などをめざす姿のキーワードとしました。

「廿日市市民は一つの家族!」をメインのキーワードにして、各地域を世帯に例え「5世帯住宅」としています。これは、各地域のローカル・ルールや特性を大切にしながら、1つ屋根の下で暮らすというイメージです。

そのためには、市民の意識が一つになる必要があると考えています。



また、非常に個性豊かな自然を生かしたいとも考えています。

《次回の会議のテーマ》

- ・次代につなぐ人材を育てる
- ・地域活動に対する評価
- ・身近な生活課題を地域で連携する

【文化・交流グループ】

「文化の力」「和みがある」「暖かい」「にぎわい 活気」「気持ちの安心」「生活の安心」「愛着」をめざす姿のキーワードとしました。

音楽や芸術などの文化活動の活性化によって、心豊かで、ぬくもりのある人づくり・絆づくり・まちづくりにつながっていきと考えました。

安心安全なまちにして、小さな子どもでも、「はつかいちが好き」といえる、長く住み続けられる、一度は出ていっても戻ってきたくなるまちになると考えました。

《次回の会議のテーマ》

- ・独特の文化を生かすしくみ
- ・地道な活動を続けている人にどうスポットを当て、広げていけるか
- ・市民同士、市民と行政の連携のしくみをどう作っていくか



【青少年グループ】

「青少年にとって存在感のあるまち」「子どもの姿が見えるまち」「つながりのあるまち」をめざす姿のキーワードとしました。

「子どもの姿が見えるまち」には、外で元気に遊んでいるという意味と、地域に出ていき、地域行事に参加するという意味を盛り込んでいます。

地域、コミュニティ団体、市民活動団体、学校、行政のつながりが大切であり、つながりを作るにはコミュニケーションを図る場が必要という意見でまとまりました。

《次回の会議のテーマ》

- ・地域内での信頼関係づくり
- ・自立した青少年の育成
- ・様々な団体・人のつながり



● 投票しました



投票は、自分のグループ以外のキーワードで、「これは大切!」「共感できる」「条例に盛り込みたい」をポイントに1人につき10枚までシールを貼っていくという方法で行いました。

投票の結果、「地域特性」「つながり」「顔見知り」「あらゆる世代が話し参加できる」「にぎわい」「安心・安全」「子どもの姿が見える」「情報共有」「愛着」が、みんなの共通の思いとなっていることが見えてきました。

●参加者の感想

- ・各グループとも、熱心に討議・話し合いが出来ていることが実感できました。
- ・皆さんの思い、考えが大きく違ってないことが確認できました。
- ・各グループから出てきたキーワードでかなり方向が見えてきたような気がします。
- ・基本の基本は、つながりだと思います。市民と市民、市民と行政、向こう三軒両隣。
- ・若い人がたくさん参加できる機会があればいいなと思いました。
- ・たくさん話がでたのに、うまく光らせることができませんでした。
- ・時間が足りなくて十分話ができませんでした。

市民委員会を開催します

どなたでも自由に傍聴できますのでお気軽にお越しください。

第4回会議では「まちづくりの活動主体」についてワークショップ方式で話し合います。

9月4日(土) 午後1時~4時
宮島福祉センター2階 紅葉



第5回会議では「まちづくりの活動主体」について第4回会議の内容をもとに議論を深めます。

10月18日(月) 午後7時~9時
廿日市市役所7階会議室

